

舞台芸術
講座

ダンスカフェサロン
in あうるすぽっと 2019



— 知られざる交流の歴史から見えてくること —

日本と東アジアが共有する コンテンポラリーダンス の関係

1911年（明治44年）、帝国劇場の開場から始まった日本の近代舞踊には、100年を超える歴史があります。日本の伝統的な舞踊文化と併存するかたちで、西洋に学んだ新たな舞踊文化が生まれました。

アジアのほかの国々でも、近代舞踊はそれぞれ独自の展開を見せています。国境を越え、海峡を越えてつながるコンテンポラリーダンスの世界。今期は、日本、中国、韓国の知られざる交流の歴史をひもとき、新しいダンスが生まれてきた流れを紹介します。

南 貞鶴作品 K-ART「ハルレ（洗濯）」（2016年）© YASKEI

中国編

10月30日（水）

19:00 ~ 21:00



小牧 正英 © 国際バレエアカデミア 河上 鈴子 © 前田果林

現代舞踊

韓国編

10月31日（木）

19:00 ~ 21:00



高田 せい子 朴 外仙

현대무용

料金 各日 500円 会場 あうるすぽっと 3階会議室 B

あうるすぽっと
OWLSHOT THEATRE

10/30(水) 19:00 ~ 21:00 中国編

※開場は開講の30分前を予定

日本で初めて『白鳥の湖』を全幕上演した伝説の舞踊家・小牧正英は、画家を目指してパリへ向かう途中、満州でバレエと出会い運命が変わる。幼少期を上海で暮らし“バレエの名手”として世界的に活躍していた河上鈴子は、帰国後、ある理由からスペイン舞踊の道を選ぶことに……。中国と日本を往来した舞踊家たちが、現代舞踊に与えた影響とは？

第一部では、1930年代の上海における日本人ダンサーの戦前の活動から、戦後の松山バレエ団『白毛女』（日中国交正常化45周年記念）の上演までの歴史を、第二部では、中国のコンテンポラリーダンスの“いま”をご紹介します。

第一部

日本と中国の舞踊文化の交流は令和も継続する

講師：うらわ まこと（舞踊評論家）

第二部

中国コンテンポラリーダンスの現状

講師：范 旅（日本大学芸術学部 教授）

司会：新倉 真由美（フリーランスライター）

10/31(木) 19:00 ~ 21:00 韓国編

※開場は開講の30分前を予定

“韓国舞踊の先駆者”と呼ばれ、韓国において多くの舞踊家を育ててきた女性は、若かりし頃、日本で創作舞踊を学んでいた。韓国と日本の架け橋となった舞踊家・高田せい子の功績とは……。

第一部では、日本の現代舞踊の母・高田せい子と梨花女子大学名誉教授・朴外仙とのつながりに迫り、第二部では、SI Dance（ソウル国際ダンスフェスティバル）、MODAFE（国際現代舞踊祭）、PAMS（ソウル舞台芸術見本市）など韓国のフェスティバルやコンクールの現状をご報告します。

第一部

1. 我が国の現代舞踊の母 高田せい子が残した遺産

講師：山野 博大（舞踊評論家）

第二部

韓国コンテンポラリーダンスの現状

講師：南 貞鎬

西田 留美可（舞踊評論家）

2. 高田せい子と朴外仙の関係

講師：南 貞鎬（舞踊家・韓国芸術総合学校舞踊院 名誉教授）

司会：西田 留美可

*諸事情により、日時・講師など一部変更する場合があります。

料金：各日 500 円

定員：各日 30 名（先着順・要事前申し込み）

お問い合わせ：ダンスカフェ

TEL./FAX. 03-3975-6405
dancecafe-21@krb.biglobe.ne.jp

ご予約：あうるすぽっとホームページ

<https://www.owlspot.jp/> よりお申込みください

会場：あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）3階会議室 B

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-5-2 ライズアリーナビル 3F
TEL.03-5391-0751
<https://www.owlspot.jp/>

予約ページ
QRコード



詳細はこちら



東京メトロ 有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結
JR 他「池袋駅」東口よりグリーン大通り直進 徒歩 10 分
都電荒川線「東池袋四丁目」より徒歩 2 分